

## 金沢大学国際基幹教育院外国語教育系・外国語教育部門 2022 年度活動記録

### ■事業日誌

- 3月27日 第105回中国語検定試験
- 3月30日 初習言語履修相談会
- 4月9日 TOEIC Listening and Reading Test
- 5月16日・18日 実用フランス語技能試験（春季）対策リスニング模試
- 7月13日 FD研究会「EAPワークショップ」
- 7月25日 FD/SD講演会 Charles Browne “Introducing the NGSL Project: Corpus-based wordlists and online resources for the systematic development of L2 vocabulary”
- 9月2日・9日 TOEIC 夏季集中講座（全2回）
- 9月7日・14日 FD研究会 前田広之「英語語彙問題作成セミナー—TOEIC Part 5で学ぶ問題作成の視点と考え方—」
- 9月28日 第3回全学FD研修会 大藪加奈・Dale Brown・菅野磨美・家口美智子「金沢大学EMI科目（英語による科目）の現状と今後の展望」
- 6月 金沢大学公開講座「養生・衛生書のあゆみ①古代篇」（全2回）
- 10月11日 金沢大学ボキャブラリーコンテスト2022
- 10月17日 実用フランス語技能試験（秋季）対策リスニング模試
- 11月11日 FD研究会「EAP Chat I」
- 11月24日 FD研究会 岩田礼・木村英樹「中国語の時空間—<いま、ここ>から見えるもの」
- 12月4日 ドイツ語技能検定試験
- 12月16–22日 FD活動 初習言語・EAP・TOEIC 準備科目授業見学 家口美智子・菅野磨美・西村周浩・西村英希・Jana Klacanska・西嶋愉一
- 1月16日 FD研究会「EAP Chat II」
- 1月23日 実用フランス語技能検定試験（秋季）2次試験協力
- 2月14日・15日・21日 TOEIC Listening and Reading Test
- 3月17日 FD/SD講演会 佐渡島紗織 「学術リテラシー教育としてのライティング授業とライティングセンターの連携」

## ■FD/SD 講演会

7月25日 “Introducing the NGSL Project: Corpus-based wordlists and online resources for the systematic development of L2 vocabulary” Speaker: Charles Browne (明治学院大学)

(参加人数：21名)

As part of the continuing efforts of Kanazawa University to provide opportunities for meaningful discussion of pedagogical approaches, the faculty development committee of the Institute of Liberal Arts and Science invited Dr. Charles Browne of Meiji Gakuin University to overview his research projects to the faculty of foreign language studies. With his extensive experience as a researcher based in Japan, Dr. Browne has contributed to the field of corpus linguistics, second language vocabulary acquisition, reading skills development, and teacher training programs over the past three decades. Addressing the faculty of foreign language studies, the interactive presentation primarily focused on the development of the New General Service List (NGSL) – a list of the most useful words in English – and associated vocabulary lists for specific purposes. (Mark Hammond)

3月17日 「学術リテラシー教育としてのライティング授業とライティングセンターの連携」 佐渡島紗織 (早稲田大学)

(参加人数：42名 (オンライン参加者23名))

未来創成教育環の主催で、金沢大学の経営改革推進事業の一環として進められる学術リテラシー教育に関する講演会を開催した。本講演会では早稲田大学国際学術院教授の佐渡島紗織先生をお招きし、一年次に学ぶアカデミックスキルとしての（日本語）ライティング教育の事例を、アカデミックライティング教育の目指すところを主題として紹介して頂いた。加えて、早稲田大学で行っている授業とライティングセンターの連携、ライティングセンターの組織運営の実践についてもお話を伺った。  
(森川 智成)



## ■全学 FD 研修会

■9月28日 大藪加奈・Dale Brown・菅野磨美・家口美智子 第3回全学 FD 研修会「金沢大学 EMI 科目（英語による科目）の現状と今後の展望」

(参加人数：97名)

本 FD 研修会では、金沢大学の SGU プロジェクトの一課題であった EMI 科目の状況を振り返りながら、本学におけるこれからの授業の英語化についての検討を行った。外国語教育系の大藪、家口、Brown、菅野の各教員が、同系において取り組んでいる学内 EMI 専門科目に関する共同研究の結果の一部を報告し、金沢大学における EMI 科目の現状を共有した。加えて、オンラインによる授業の英語化を目指す学類への情報提供を目的とした、コロナ禍でのオンライン GS 言語科目に関する研究結果の報告も行った。本研修会ではまた、EMI 推進教員でなくても取り組める、SGU 最終年を見据えた開講アイデアが上記教員より紹介され、この提言を通じた全体討論の場が持たれた。この研修の内容は LMS の教員研修ページに掲載された。また EMI 授業の開講アイデアに関する内容は、小冊子『これから始める EMI』として発行された。(森川 智成)

## ■FD 研究会

■7月13日 「EAP ワークショップ」

(参加人数：17名)

This workshop focused first on the university's Writing Centre. Heejung Kwon, the full-time member of staff there, explained how the Writing Centre provides one-to-one tutoring for students not only on writing but on any aspect of their studies related to English. EAP instructors were therefore encouraged to recommend use of the Writing Centre by their students, especially students who may want or need extra support. The second part of the workshop was a discussion of three aspects of EAP: (1) way to get students speaking in English in class (led by Professor Oyabu); (2) giving students feedback on presentation delivery (led by Professor Kanno); (3) helping students learn to speak from notes (led by Brown). (Dale Brown)

■9月7日・14日 前田広之「英語語彙問題作成セミナー—TOEIC Part 5 で学ぶ問題作成の視点と考え方—」

(参加人数：14名)

Zoom 開催の本セミナーでは、TOEIC 関連の教材執筆、指導者育成、問題作成者育成など様々な活動をされているヒロ前田氏（前田広之氏）による、TOEIC Part 5 の語彙問題作成に特化したレクチャーをしていただいた。第1回は、問題の難易度を決めるのは「魅力的な不正解」の選択肢であること、問題文のトピックが限られること、問題を評価する視点のヒント等、示唆に富む内容であった。1週間おいて行われた第2回では、この間に参加者から提出された問題作成課題についての講評があり、それぞれの参加者の作品を、第1回で学んだことを早速活用して見直すことができた。ポキャブラリーコンテストを今後継続的に実施していくにあたり、質の高い問題作成のスキルは必須のものとなっている。本セミナーはそのために大いに有用であり、今回だけにとどまらず今後も定期的にも実施されることが望ましいものとする。(西嶋愉一)

■11月11日 「EAP Chat I」

(参加人数：11名)

This event gave EAP instructors an opportunity to talk informally about the EAP courses. Held at lunchtime, members of the EAP Committee and a number of other instructors came together and reflected on the EAP courses, asked questions and shared ideas. (Dale Brown)

■11月24日 岩田礼・木村英樹「中国語の時空間—くいま、ここ>から見えるもの」

(参加人数：120名(オンライン参加者10名))

2022年11月24日(木)、かつて本学(人文学類、文学部)に教員として在職された岩田礼先生(金沢大学名誉教授)、木村英樹先生(東京大学名誉教授)を講師に迎え、初習言語学生支援企画・FD研修会が開催された。「中国語の時空間」をテーマとする対談では、国内外の中国語学界を牽引する両先生により白熱のトークが交わされ、120名の学生、教員が共に聞き入ってその展開を見守った。共催：人間社会研究域言語研究グループ、人間社会環境研究科、人文学類。(趙菁)

■12月16日～22日 家口美智子・菅野磨美・西村周浩・西村英希・Jana Klacanska・西嶋愉一  
初習言語・EAP・TOEIC準備科目授業見学

(参加人数：40名(計6回))

2022年度金沢大学国際基幹教育院外国教育系FD授業参観[Class observation]を2022年12月16日から12月22日までの期間で実施した。以下の6人の教員が担当授業を公開した。参観者から授業改善に役に立ったとの声が多数寄せられた。

12月14日	家口美智子	EAP IV
12月15日	菅野磨美	EAP IV
12月16日	西村周浩	TOEIC準備 IV
12月20日	西村英希	中国語 A
12月21日	Jana Klacanska	ドイツ語 A
12月23日	西嶋愉一	English Seminar

(Mark Hammond)



■1月16日 「EAP Chat II」

(参加人数：11名)

Held on a different day of the week from the first EAP Chat, so as to allow different instructors to join, this event provided another opportunity for EAP instructors to come together and talk about the EAP courses informally. Members of the EAP Committee were joined by several other instructors who gave their reflections on the EAP courses, discussed issues around the courses and shared ideas for the classroom. (Dale Brown)

## ■教育改革関係

### ■初習言語科目改革

学類との連携を強め、より統一的に初習言語科目を運営するために、系長を座長とする初習言語科目カリキュラム改革連絡会を設置した。基幹教育院長、系長、部門長、各言語科目コーディネータ、学類長、および学類委員で初習言語科目改革について検討し、統一教育目標や、統一開講時間帯、履修者数等にかかわる案を教育担当理事に報告した。（2回開催）

### ■GS 言語科目改革

英語将来構想 WG を設置し、部門長、国際試験教育企画部長、EAP 教育企画部長で 2024 年度開講予定の新カリキュラムについて検討し、改革案を教育担当理事に報告した。（2回開催）

### ■GS 言語科目改革

学術リテラシー教育 全学的な学術リテラシー教育の推進のため、系長を座長とする学術リテラシー教育 WG を設置し、全学類からの委員および系内からの委員を含む国際基幹教育院委員で GS 言語科目 EAP コースと「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」の連携について検討し、これらの科目で説明する内容や連携のしかたについての案を教育担当理事に報告した。（全体会議 3 回、コアグループ・ミーティング 3 回開催）

## ■学習支援事業

### ■総合教育部関係

今年度は、外国語教育系より以下の教員が総合教育部の担任を担当した。

文系：小熊猛（担任代表、地域概論コーディネータ）、西村英希（総合教育部学務委員）

理系：橋本将（総合教育部共通教育委員及び導入科目企画部会員 データ・サイエンス基礎コーディネータ）

### ■金沢大学ボキャブラリーコンテスト 2022

2022年10月11日（火）に、金沢大学附属図書館、未来創成教育環、学術スキル企画部、スタートアップ企画からのサポートを受けて、家口美智子、菅野磨美、西嶋愉一を運営委員とした外国語教育系は、金沢大学の学生を対象としたボキャブラリー・コンテストを開催した。

コンテストのために、外国語教育系の英語教員によって TOEIC で使用される語彙を意識した 100 の選択肢問題が作成された。コンテストにエントリーした学生は 148 名で、当日は 70 名が実際にコンテストに臨んだ。優勝した学生のスコアは 100 点満点中 91 点であり、平均点は 62.4 点であった。（森川智成）



### ■TOEIC 集中講座

休み期間（夏季）に、学類 1 年生を対象に TOEIC 集中講座を実施した。実施日時および概要は以下の通り。

#### TOEIC 夏季集中講座

9月2日（金）TOEIC Listening and Reading 対策講座《ちょっと上を目指す編》

9月9日（金）TOEIC Listening and Reading 対策講座《入門編》

（西嶋愉一）

#### ■ドイツ語留学支援活動（カフェ・クラッチ）

新型コロナウイルス感染拡大のため、一昨年から活動を休止していたドイツ語会話交流会「カフェ・クラッチ」を再開した。カフェ・クラッチは、留学支援活動として人文学類独語学独文コースとの共催で、ドイツ語圏から金沢大学に留学に来ている学生と本学の留学希望の学生のために、毎週水曜日 3 限もしくは 4 限に開催している。外国語教育系からはクラチャンスカ教員が担当講師としてカフェ・クラッチの開催・運営に協力した。留学を希望している学生やドイツ語圏からの留学生と知り合う場として、本学の学生からは好評であり、今後もこの活動の支援を続けていきたい。（早川文人）

#### ■フランス語オンライン語学研修

8 月 29 日から 9 月 9 日にかけての 2 週間、人間社会学域の科目「異文化体験実習 I（フランス）」および共通教育科目「異文化体験～現代ヨーロッパ文化研修～」の枠組みでオンライン研修が実施された。2 年生から 4 年生までの 8 名の受講者が、オルレアン大学フランス語学院が提供する 4 科目 20 時間の授業に参加し、研修後にレポートを作成した。外国語教育系佐藤朋子准教授が事前授業と研修全般の運営を担当した。（佐藤朋子）



## ■検定試験関連事業

### ■TOEIC Listening and Reading Test

4月 TOEIC Listening and Reading Test は、2022年4月9日（土）に対面で実施した。総合教育部の1年生142名が受験した。

2月 TOEIC Listening and Reading Test は、2023年2月14日（火）、15日（水）、21日（火）に対面で実施した。全学の1年生1,659名が受験した。

### ■中国語検定試験

2022年3月27日に実施した第105回中国語検定試験では、申込者数が例年同時期から倍増して60名を超えたが、合格率は60.7%であり、2021年3月の合格率77%（34名受験、24名合格）より下がった。しかし、検定試験を受験することは、中国語学習者の学習モチベーション向上にポジティブな刺激を与えたことは間違いないと考えられる。これまでは、金沢大学が準会場として中国語検定試験を実施運営してきた。2023年3月からは正会場として、引き続き中国語学習者に検定試験を受験する機会を提供することに努める。

実質受験者数と合格者数（括弧内）

	準4級	4級	3級	2級	合計
第105回(2022. 03. 27)	17 (12)	40 (25)	3 (1)	1 (0)	61 (37)

(趙菁)

### ■冬季ドイツ語技能検定試験

冬季ドイツ語技能検定試験は、2022年12月4日(日)、本学角間キャンパス総合教育講義棟で開催された。新型コロナウイルス感染拡大状況下のため、受け入れ人数を制限し、感染予防に努めたうえ本学学生以外の受験者も受け入れて実施した。なお、この冬季試については、金沢大学角間キャンパス総合教育棟が北陸三県で唯一の実施会場であるため実施する意義は大きく、学内外の教員の協力を仰ぎながら今後も実施し続けていきたい。

会場責任者：佐藤文彦（人文学類） 試験監督者：Jana Klacanska、志村恵（国際学類）、Timo Thelen（国際学類）、学外教員1名。

受験者数は以下の通り。（本学学生以外も含む。）

1級	準1級	2級	3級	4級	5級	合計
2名	7名	8名	14名	15名	6名	52名

(早川文人)

■実用フランス語技能検定試験、模擬試験（リスニング対策）

2022年度、実用フランス語技能検定試験は例年通り2回開催された。春季は2022年6月19日（日）（1級、2級、準2級の1次試験合格者を対象とする2次試験は7月17日（日））、秋季は11月20日（日）（準1級、2級、準2級の1次試験合格者を対象とする2次試験は2023年1月22日（日））に実施された。本学からは2名の教員が2次試験の運営に協力した。試験にさきだち、学内でリスニングの模試を行い、春季は7名、秋季は2名が参加した。

本学からの実質受験者数と合格者数（括弧内）

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
春季	0	実施なし	1 (0)	6 (2)	6 (3)	6 (3)	1 (1)	20 (9)
秋季	実施なし	0	4 (2)	3 (1)	4 (2)	14 (11)	1 (1)	26 (17)

(佐藤朋子)

## ■外国語教育系教員動向

### ■科学研究費補助金

大藪加奈	基盤(C)代表	YA テキストにおける摂食障害の表象：フィクション・ノンフィクションと読者の関係	2022-2025	1,820 千円
數見由紀子	基盤(C)代表	「最小構造」を活用した英語構文の体系化と教授法の開発	2022-2024	390 千円
小熊猛	基盤(C)代表	発話参与者標示及び空間直示指示と概念化様式の英韓日対照研究	2022-2024	4,160 千円
澤田茂保	基盤(C)代表	英語の話しことばにおける機能語類連鎖の働きに関する基盤的研究	2021-2023	1,040 千円
橋本将	基盤(C)代表	名詞句の（連想）複数性の研究：統語と意味の観点から	2020-2022	910 千円
家口美智子	基盤(C)代表	未来・認識を表す準助動詞の主語の通時的発達	2022-2024	1,560 千円
佐藤朋子	基盤(C)代表	20 世紀後半フランスのフロイト派における構造概念の用法と応用精神分析の展開の解明	2020-2023	4,420 千円
西村周浩	基盤(C)代表	ラテン語の語源研究：古代文化の営みから読み解く言葉の諸相	2020-2022	2,860 千円
Mark Hammond	基盤(C)代表	Demonstrative Artist-talks in English as a Foreign Language: A Needs Analysis for Contexts in Japanese Higher Education of the Ceramic Arts	2019-2022	1,430 千円
早川文人	基盤(C)代表	ウィーン・ラジオ放送の文学番組とオーストリア・ファシズムの文化政策	2018-2022	3,510 千円
平松 潤奈	基盤(C)代表	検閲と自己懲罰：ロシア帝国とソ連における文学テキスト生産メカニズムの考察	2019-2022	2,080 千円
Dale Brown	基盤(C)代表	The development of productive knowledge of collocations and overall English proficiency	2021-2023	1,300 千円

Lewis Murray	基盤(C)代表	Developing an empirically-derived academic phrasebank for L2 undergraduate learners	2021-2023	2,080 千円
菅野磨美	若手研究	中世後期イングランドにおける地方での聖人崇敬に関する写本研究	2019-2023	4,290 千円
森川智成	若手研究	アメリカ国防総省によるミュージアムを介した文化政策の展開	2022-2024	2,340 千円
Jacob Runner	研究活動スタート支援	Transhistorical Approaches to Multilingualism and Multiliteracy in Early English	2021-2022	520 千円

#### ■教員の離着任

着任 山村公恵 (3月着任)

離任 Lewis Murray (3月離任)

## ■社会貢献事業

### ■金沢大学公開講座「養生・衛生書のあゆみ①古代篇」(全2回)

講師：国際基幹教育院教授 趙菁、茨城大学教育学部教授 瀧澤利行

実施時期：2022年6月12日実施(全2回)

本講座では、古代の養生・衛生について理解を深めながら、現代社会に対応するための生活原理としての養生・衛生の意義を市民とともに考えた。受講者より高い評価が得られ、次年度はその続編を開催する予定である。(趙菁)

### ■大学のグローバル化 情報交換セミナーVol. 54 ((株)アルク主催)「全学学術リテラシー教育の一環として行う教養英語授業～統一シラバス言語教育 その先へ～」(オンライン)

講師：国際基幹教育院教授 大藪加奈

実施時期：2023年2月24日実施

統一シラバスで行うGS言語科目の運営実績と、英語科目を全学学術リテラシー教育の一環と位置つける今後のカリキュラム改革について、情報共有した。定員を超える136名の参加者があり、本学言語科目改革への関心の高さが伺われた。(大藪加奈)

## ■来訪者

今年度は英語教育改革に関する調査を中心に他大学からの来訪者があった。

宇都宮大学 英語教育改革に関する調査(6月22日)

京都外国語大学 英語教育改革(特にEAPコース)に関する調査(2月8日)

信州大学 言語科目改革(特に英語教育統一シラバスでの運営)についての調査(3月7日)

■ 刊行物

- 『初習言語ガイドブック』 2023 年度版
- 『EAP Teachers' Guide 2023』
- 『EAP コース説明リーフレット』 2023 年度版
- 『これから始める EMI 授業』
- 『TOEIC 準備コース説明リーフレット』
- 『言語文化論叢』 第 27 号
- 『外国語教育フォーラム』 第 17 号

